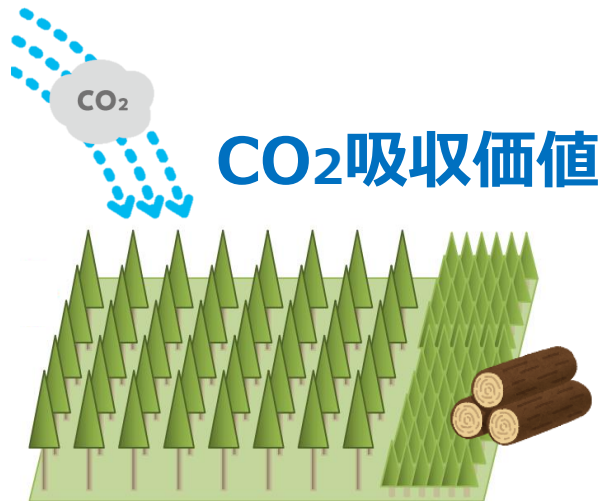


- ✓ CO₂吸収による環境価値（CO₂クレジット）創出等の知見を習得し、将来のカーボンニュートラルに向けた当社グループの総合エネルギーサービス事業活動に活用する。
- ✓ 地域と連携して長期にわたり森林を適切に管理することを通じて、自然環境保全、地域資源の活用による地域活性化に貢献する。



カーボンニュートラルに向けた
総合エネルギーサービス事業
活動に活用

自然環境保全への貢献と
地域資源の活用

かなやま湖隣接地 142.82haを取得予定



※航空写真の一部を修正しているため現況と異なる部分があります

健全に育成された森林から得られるCO₂吸収量を、**J-クレジット**として価値を明確にし、当社のカーボンニュートラルに向けた取り組みに活用する。

(参考) J-クレジットについて

省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO₂等の排出削減量、適切な森林管理によるCO₂等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度

J-クレジット創出者 (企業、農業者、森林所有者、 地方自治体等)

- 省エネ設備の導入
- 再生可能エネルギーの導入
- 適切な森林管理

創出したJ-クレジット

- 温暖化対策法、省エネ法の報告
- カーボンオフセット
- 低炭素社会実行計画の目標達成等に活用可能

J-クレジットの認証

国（経済産業省・環境省・農林水産省）